



2022年度 Aコースについて



～ 中学入試のおもしろい！をみつけよう

<ねらい>

入試に出題される重要実験を実際に体験し、**入試理科を楽しく・得意分野**にすることにあります。「**楽しいから学びたくなる**」この姿勢は受験を志す子どもたちにとっても大切なことです。中学入学後にも継続する、**本物を学ぶ姿勢の体得**を本コースでは目指しています。感動を伴う体験は、学校や塾などの学習に先駆けて経験しておく方が、お子様に効果的に定着する傾向があります。このため、小学校4年生・5年生の方には月2回の受講をお勧めいたします。6年生の内容も**4年生でも楽しく理解できるように実施**してまいります。

<2022年度 神奈川／東京 中学入試出題傾向 約200校対象> [分析 アインシュタインラ

2021年度の入試では地球温暖化防止の世界的活動や新型コロナウイルス感染拡大による影響もあり、これら事象に関する問題を取り上げる学校も多く出てきています。分野別の出題傾向に関しては、実験・観察を扱う出題が8割を超え、化学分野・物理分野では、昨年に続き**9割以上が実験に関する出題**となりました。内容をみると、**天体・電気・動植物・人体・水溶液・状態変化・実験器具・気体の発生・気体の性質・運動（てこ、てんびんなど）**分野は、まんべんなく基本問題として出題されたといえます。また、データやグラフを見ながら**実際の現象に当てはめて考えさせる出題**が増えています。注意したいところは、各中学校がそれぞれの**特色を出す応用問題**です。興味深い出題例としては、**電磁誘導を利用した自動改札機のカードの仕組み・ウイルスと細胞の違い・免疫システム・ワクチンと抗生物質・温暖化に関する問題・3密の理由とウイルスの性質・進化の過程をDNAの塩基配列（ATGC）を使って考えさせる問題・原油流出事故やマイクロプラスチックによる海洋汚染及び生態系への影響についての問題**などがあげられます。また地球全体が火山の活動期に入っていることから、**地震・火山・地球の内部構造の出題**も目立ちました。これらは、現在日本が直面している問題にいかに関心をもって取り組んできたかが問われます。これらに対応するためには**自分から面白いと興味をもち、現象と現象を関係付けて調べていく**など、分野の壁や教科書にとらわれない積極的な姿勢が大切になってきます。

2022年度の**アインシュタインラボの授業**では、小学校で行う基本的な実験はもちろん、上記のような**最新の時事問題にも対応**できるよう、各分野の**実験**を取りそろえております。お子様の科学的な考え方が自然に育まれ、**受験およびその後の将来**にきつとお役にたてると自負しております。



卒業生の感想

実験をたくさんやったので、イメージがわき記述問題が得意になりました。
(フェリス女学院 合格)

ラボの授業の実験と同じようなものが出題されました。リラックスして解くことができました。
(栄光学園合格)

理科を柱に、受験勉強を進めることができた。
(慶応義塾中等部 合格)

前もっていろいろな実験をしているので、新しい単元にも抵抗がなかった。
(聖光学院中 合格)

<Aコースのようす>



その他、たくさんの皆さんから感想をいただきました。ありがとうございました。